

## 暗記科目攻略法

班員 川村 茉優 椎葉 千紗都  
湯浅 心花

指導者 山中 千聡先生

### 研究の動機

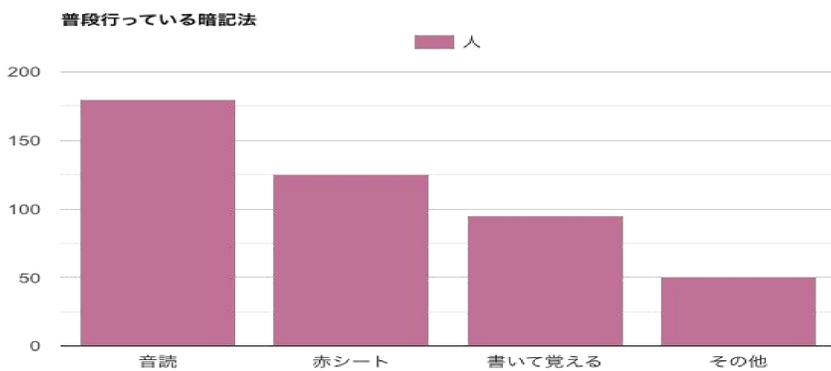
ほぼ毎日の授業で行われる小テストでもっと効率的に暗記して、その記憶が長続きすれば定期テストでもいい点数をとれるようになると思ったため。

### 先行研究

- 読み声を使った暗記法
- 色に関する暗記法
- 香りによる暗記法

### 研究方法

①普通科生徒(約450人)を対象に普段から行なっている暗記法についてのアンケートをとる。



②被験者10人に60個の英単語を黙読のみで覚えてもらい、30問の小テストを受けてもらう。

③その後アンケートを元に指定した暗記法を1週間実行してもらい、再度テストを受けてもらう。

①のアンケートで多かった(音読、赤シート、書く)の3つを実践してもらう。

④2回目のテストの後、協力者に指定した暗記法についてアンケートをとり、それをもとに、どの暗記法が一番点数を上げるのに効果的かをまとめる。

(今回の実験は人にはそれぞれやりやすい暗記法があり、今回の実験の結果が万人に通用するわけではないことを前提に、行っています。)

### 参考文献(2022年6月29日最終閲覧)

[https://keiyu.or.jp/ent/2020/04/20/1018/\(つくば難聴めまいセンターホームページ\)](https://keiyu.or.jp/ent/2020/04/20/1018/(つくば難聴めまいセンターホームページ))

[https://tech-camp.in/note/pickup/78901/\(TECH CAMPブログ\)](https://tech-camp.in/note/pickup/78901/(TECH CAMPブログ))

### 仮説

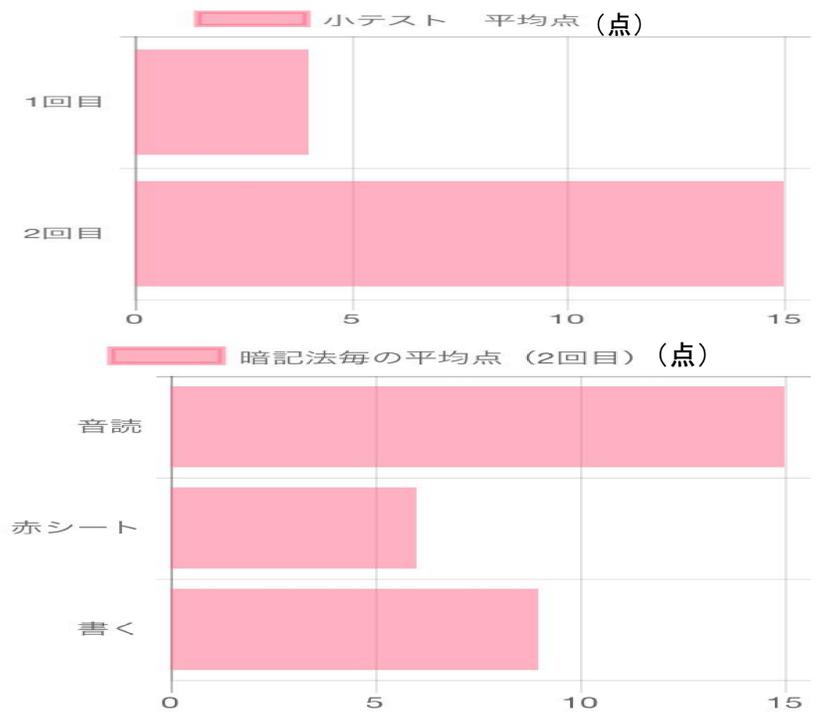
短い時間で覚えられて長期間記憶が続く暗記法はないと思う。小学生の時の「読み声」から引用して考えた結果、強いて言うのであれば音読が効果的ではないだろうかという仮説を立てた。

### 結果

1回目のテストの全体平均点数は4.6点。

2回目のテストの全体平均点数は15.8点。点数が2倍以上になった人もいた。

しかし、暗記法がいつも使っているものと変わってしまい、結果が伸びなかった人もいた。



### 考察

暗記法を変えることで点数は伸びたがアンケートによるいつもの暗記法と違ってやりにくかったという意見が多かった。

→やりやすさと点数の伸びは関係していないと考えられる。

### 反省／課題

実験を始めるのが遅くなってしまい、長期的な実験ができなかった。

もう少し人数を増やしておけばまた違う結果になったのではないのだろうか。

### 謝辞

実験に協力してくださった全ての方々へ感謝申し上げます。ありがとうございました。